

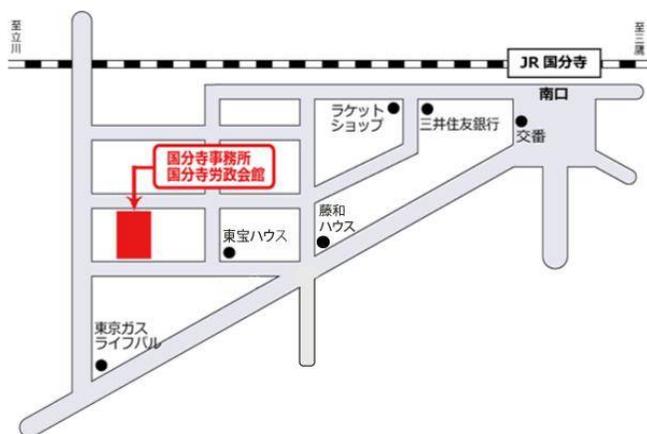
# 8・2、闘う仲間を支援しよう 「ルネサス武蔵事業所の実態を知る会」

## 開催

- ・日時;8月2日(日)13時30分開会
- ・会場;国分寺労政会館4F「第4会議室」

## 内容

- ・主催者挨拶(米田徳治委員長)
- ・職場組合員からの報告
- ・この一年間闘争パンフの報告
- ・連帯の挨拶
- ・地元支援者
- ・カンパの訴え、闘う体制の確立
- ・閉会挨拶・団結頑張ろう



## 違法な高崎異動から武蔵に戻る

昨年の早期退職強要面談のなかで「退職か高崎への転勤」かの選択を迫られ、子供さんがおり「介護休業法」による転勤での配慮義務を実施もせず、高崎転勤に応じなければ解雇するとして本人に解雇予告書を手渡す暴挙となったので異議を唱えて転勤しました。

高崎転勤後も、東京労働局への「介護休業法」での配慮を求める要請や参議院の厚生労働委員会での日本共産党小池議員の論戦で行政指導を求める取り組みを展開。厚生労働省での記者会見の実施やルネサスの事業所宣伝行動などを取り組んできました。

労働契約承継法でのRELからREGへの転籍を本人の同意なしに実施させてきた事に対して東京労働局に申し、出向中の社員を子会社に転籍させる場合の扱いに関して「留意してください」との文書助言が出され、4月2日(木)に実施された「5条協議」の場でも論議となりました。

こうした経緯を経て、最初に4月13日(月)に武蔵事業所への復帰、続いて5月18(月)に復帰する事が出来ました。

主婦として、ご主人も単身赴任されている厳しい状況の中での往復5時間を超える過酷な新幹線通勤と「自家用車」での通勤から解放され「元の職場に戻れて本当にうれしい」と語っています。



主催;電機・情報ユニオン東京支部(03-6450-1777)

## ルネサス 遠隔地配転を撤回

半導体大手・ルネサスエレクトロニクスの遠隔地配転で、群馬県の高崎事業所まで高速道路利用の通勤を強いられていた女性が、18日から元の勤務先の武蔵事業所(東京都小平市)に戻りました。新幹線通勤だった女性はすでに13日から武蔵事業所に出勤しており、これで女性2人の配転を撤回させたこととなります。

ルネサスは従業員数を半減させる異常なリストラを強行。早期退職を強要し、応じない労働者を遠隔地配転などに追い込みました。

2人は昨年10月から高崎への遠距離通勤を強いられていました。いずれも夫は単身赴任中で子育ての負担もあり、二元の職場に戻してほしい」と訴えていました。

### 高速道で通勤の女性 元の職場復帰

女性らは会社側の雇用承継手続きに問題があったと異議を申し立て、協議をすすめていました。日本共産党の小池晃参院議員はじめ国会議員団が要請や国会質問を重ね、ルネサスに対し厚生労働省東京労働局による文書助言も実施させました。

電機・情報ユニオンの米田徳治委員長は「職場と国会を結んで会社の不当性を追及し、女性が働き続けられる職場へとたたかってきました。大きな成果です。引き続き不当な退職強要や降格を是正させたい」と決意をのべています。

もうひとり別の女性は、横浜から高崎への異動が明示されていたが、この間のたたかいで撤回させ、武蔵事業所勤務となりました。

## リストラとたたかう

電機・情報ユニオンが集会



ルネサス あいさつする米田委員長 長(28日、東京都内)

半導体大手ルネサスエレクトロニクスがすすめる大規模なリストラに対して、たたかう労働者を支援しよう」と、電機・情報ユニオン東京支部は28日、「ルネサス武蔵事業所の実態を知る会」を東京都内で開催しました。

米田徳治委員長はあいさつで、電機リストラは24万人を超えていると指摘。ルネサスが

利益を出すためにリストラをすすめていると告発しました。

昨年、課長から降格された労働者は、「メール1通で降格された」と発言。その後、退職を強要する「面談」を9回受けたものの、電機・情報ユニオンのたたかいで「面談」が止まったと語りました。

全労連の斉藤寛生組

織局長をはじめ、東京

地評、三多摩労連、ルネサスリストラかながわ対策会議の代表、日本共産党の佐藤みつる小平市議らが連帯あいさつしました。

桜美林大学の藤田実教授が講演しました。